

兵解協だより

平成31年1月26日に新春懇親会が盛大に開催されました



挨拶をする上原会長



乾杯の音頭をとる金顧問



新春懇親会の風景

平成31年1月26日(土)PM6時から、ANAクラウンプラザホテル神戸9F「ジャスミンの間」で新春懇親会が盛大に開催されました。松本衆議院議員・室井参議院議員・安井神戸市会議員・松田兵庫県議会議員・石堂姫路市議会議員・松本神戸市住宅都市局住宅整備担当部長・勝野兵庫県産業廃棄物協会常務理事らを来賓に招き、46名出席のもと盛大に行われました。

はじめに、上原会長が挨拶にたち、「皆様、改めまして新年明けましておめでとうございます。旧年中は当協会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。本年もよろしく願いいたします。また、平成31年の新春懇親会にこのように多数の会員の皆様、並びにご来賓のか方々にご出席賜りましたこと重ねてお礼申し上げます。昨年を振り返ってみますと、今年の漢字に「災」が選ばれるほど例年にもまして自然災害の多い年でした。我が兵庫県解体工事業協会では、兵庫県知事、姫路市長と「防災協定」、兵庫県警察本部長と「災害時支援協定」の締結を行っておりますが、今年も増えると思われる災害時には、地域社会に貢献出来るよう役割を果たしてまいりたいと思います。今年は、新元号となる節目の年で、我々も三元号を生きる記念の年となります。9月にはラグビーワールドカップ、来年はオリンピック・パラリンピックが開催される等、高い経済効果が、期待される場所です。しかしながら、米中貿易摩擦を背景に世界景気が不安定で先行きが不透明な情勢となっており、県内の市長及び市会・県議会議員選挙、夏の参議院選挙、10月からの消費税増税と国民生活への影響が懸念されます。当協会では、様々な問題に取り組むべく、日々活動を続けておりますが、さらに協会の信用力を高めるため、今年是一般社団法人の設立をめざしてまいります。我が解体業界におきましては、依然として人材の確保、育成、技術の継承等様々な課題が山積みしております。今年4月から施行されます「出入国管理・難民認定法」や働き方改革関連の労働基準法の改正が、今後どのような、形で導入され、影響するのか見極めていかねばなりません。今後もこの様な問題解決に向け、解体業の発展のため、益々協会員の皆様方と協力・連携し、業界全体で更なる努力をして、社会貢献に努めてまいりたいと思います。協会員の皆様方におかれましてはどうかご協力をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、本日ここにお集まりの皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。」と新年の抱負を述べました。

室井参議院議員等の祝辞の後、松本神戸市住宅都市局住宅担当部長が「日頃は神戸市の住宅政策、住宅行政にご支援、ご協力いただき誠に感謝申し上げます。神戸市の公共施設であります市営住宅や区役所、学校等のご存じのように昭和40年から50年代の建設が多く、かなり老朽化しているのが

兵解協だより

兵庫県解体工事業協会

(公)全国解体工事業団体連合会会員

事務局 神戸市兵庫区北逆瀬川町3-11 3F

TEL078-681-7710 FAX 078-599-8874

E-メールアドレス n-kaitai@hb.tp1.jp

実情です。市営住宅を担当している我々はマネジメント計画を立てまして、建替えや耐震改修を行いながら建物の維持に努めています。例年20から30物件程度の建替えや耐震改修を実施していますが、これからは、皆様方のお力をお借りすることになってくると思います。民間工事につきましても、神戸市内で例年1,300件の解体工事が発生しています。今年度はまだ3ヶ月残っている段階です。すでに1,300件に近づいている状況です。これはおそらく消費税増税の前倒しではないかと思えます。

これからも国の景気対策等を注視していきたいと思えます。全国的な問題でもありますが、神戸市の住宅政策で問題になっているのは空き家対策です。神戸市内で年間1万戸くらい新築がある中で、神戸市の人口は6年くらい前から減少し始めましたので、空き家がどんどん増えていっているというのが現状です。危険な状態になっている空き家や手入れがされていない空き家をどのように速やかに解消していくかが課題になっています。これからもそのような空き家が増えていく状況ですので、皆様方のお力をお借りしなければなりません。我々神戸市の住宅政策におきましては、皆様方のご支援をいただきながらいろいろなことに取り組んでまいりたいと思えますので今後ともよろしく願いいたします。」と述べられました。

また、兵庫県産業廃棄物協会の勝野常務理事は「解体工事業と産業廃棄物処理業は切っても切れない中、二人三脚で仕事をする中でございます。今年の4月1日に兵庫県産業廃棄物協会から兵庫県資源循環協会に変わります。すでに大阪や京都の協会はすでに変更しておりますので、全国的な流れに合わせて循環型社会を構築しましょうということに呼応する形で名称を変えるということでございます。循環型社会の構築を進める中で、解体工事業と産業廃棄物処理業は中核を担って活動をしなければならない事業者であると思えます。今後益々仲良く行動させてきたいと思えますのでどうぞよろしく願いいたします。」と挨拶をされました。

引続き金顧問が壇上に上がり、「今年1年の兵庫県解体工事業協会の活動と解体現場の無事故を祈念いたしまして乾杯します」と乾杯の発声を行うと、会は、歓談へと移りました。

出席者は和やかな雰囲気の中で会員同士が交流し多いに親睦が深められました。

この後、新規加入会員の紹介があり、「(株)シマブンコーポレーション」の執行役員の十代雅光氏が挨拶にたちました。

そして、白國理事による中締めが行われ、新春懇親会は無事に終了いたしました。来年の新春懇親会も多くの会員の皆様方の参加をお待ちいたしております。

行事予定のお知らせ

第18回総会を、6月22日(土)PM6時から、メリケンパークオリエンタルホテルで開催いたしますので多くの会員の皆様方のご参加をお待ちいたしております。

なお、今年の総会は役員の変更とともに、一般社団法人設立のための、「定款」を議案に上程する予定でございますので、会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。